



指導上の工夫

【自分自身との関わりで考えるための工夫】

- ・導入のアンケートや終末の写真(理科:生き物探し)の掲示により、身近に感じられるようにする。
- ・何に石を投げているのかを考えさせ、アドルフが小さな命を軽い気持ちで考えていたことをおさえる。

【多面的・多角的に捉えるための工夫】

- ・ヒキガエルをじっと見つめるロバについて班で話し合う。
- ・ロバと荷車を見送る子供たちの後悔や反省、優しさ等、多面的に話が出るようにする。

【主題に迫るための工夫】

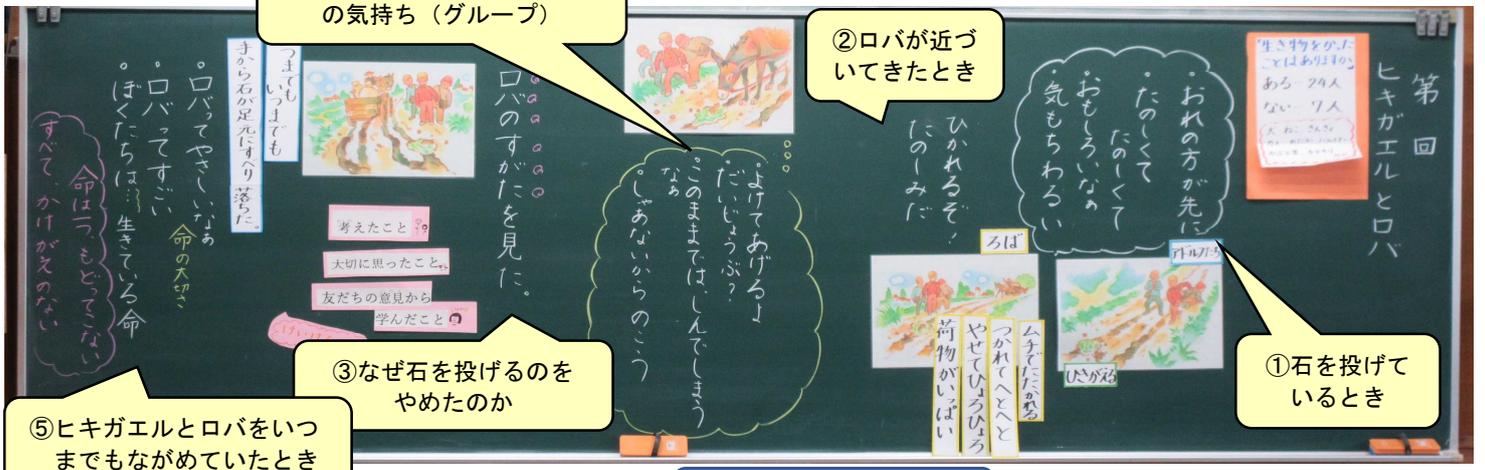
- ・アドルフとピエールの目線とロバの目線とを比較することで、命の大きさに気付かせる。
- ・ロバの気持ちを考える際には、班活動を取り入れて多様な考えに触れられるようにし、中心発問に対する考えを深める手立てにする。

授業者 山下 和香 教諭

主題名 小さな命の重さ
【生命の尊さ】小学校 中D (18)

教材名 ヒキガエルとロバ
『私たちの道徳3・4年』文部科学省

ねらい ヒキガエルを助けたロバの姿を見たアドルフの行動を振り返り、考えることを通して様々な生命を大切にしようとする心情を育てる。



講師による指導・助言

高知大学 森 有希 准教授

— 道徳科の授業づくり —

- ①指導の要点を授業者がおさえる。
- ②授業の概要(ねらい、**中心発問**、学習指導過程等)を考える。
- ③道徳科の学習活動(自分との関わりで考える、多面的・多角的に考える)を意識して指導方法の工夫を考える。
- ④指導の要点を念頭に、児童生徒の思考の流れを予想し、指導案を作成・修正する。

何を目指し、何が捉えどころで、

最後に何を引き出したいのかをしっかりと考えること

【登場人物の心情変化に着目した場合の中心発問】

…道徳的に変化した人物の、変化した場面での心情…

例 ヒキガエルとロバの姿をいつまでもいつまでもながめていたとき、アドルフはどんなことを考えていたか

【道徳的な問題に着目した場合の中心発問】

…道徳的問題を解決するために大切なことやその意義…

例 命はなぜ大切なのか

例 命を大切にするためにはどうすればよいか

例 命を大切にするためにはどんな考えが大切か

【主題に迫るために(協議を踏まえて)】

アドルフたちとロバの考え方の違いを「**比較**」し

例 両者の行動が違っているのはどんな考えの違い?

アドルフたちの「**変容**」を通して

例 はじめと終わりで何が違うと思う?

命を大切にすることについて「**追究**」する

例 なぜ忘れてしまうのか 大切にするためにどんな考えが大事か

型に固執せず
効果的な組合せも考える

ロバ?アドルフ?

どう深める?

協議の要点

ねらいとする児童の考えを引き出したり深めたりすることができるか

協議の視点1【自分との関わりで考えるために】

～発言をどう引き出しどう扱えばよいのか～

□命を意識する事前アンケート結果を取り上げた導入は効果的である

□アドルフやピエールになって役割演技をしてみてもどうか

□ヒキガエルに対する気持ち悪いという感覚から抜けきれず思考が進まない場合にどうすればよいのか

協議の視点2【多面的・多角的に考えさせるために】

～アドルフやロバをどう問えばよいのか～

□アドルフからロバについて視点が急に変わる発問(④)をすると、児童にとっては唐突で戸惑いが起きそうである

- ・発問の順番を場面順に変更すれば思考は流れる
- ・アドルフのみの心情を追う方がよいのではないか
- ・アドルフとロバを対比させ、「違い」を問うてはどうか
- ・板書をすっきりと構造化できないか

協議の視点3【主題に迫るために】

～命は大切であることをどう深めるのか～

□アドルフとピエールの「**変容**」についてしっかりと考えさせる必要があるのではない(①→⑤)

□アンケートを使って終末でも振り返るのはどうか

□命について考えることを視点としてはじめに与えておく